

厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）  
分担研究報告書

肝炎医療コーディネーターの肝疾患診療連携拠点病院事業における貢献  
に関する研究

研究分担者	井上 泰輔	山梨大学医学部第一内科	講師
研究協力者	中山 康弘	山梨大学医学部付属病院肝疾患センター	特任講師
	有菌 晶子	山梨大学医学部付属病院肝疾患センター	看護師
	石黒 博子	山梨大学医学部付属病院肝疾患センター	看護師
	金高 昌代	山梨県福祉保健部健康増進課	課長補佐
	浅山 光一	甲府市福祉保健部健康増進課	課長

研究要旨

2009年に山梨県において全国に先駆けて養成を始めた肝炎医療コーディネーターは現在全都道府県で養成事業が進行中で2017年には厚生労働省から「肝炎医療コーディネーターの養成及び活用について」が発出されている。しかし実際の役割や機能は確立されていない。そうした中、各種肝疾患拠点病院事業において相談員や講師として積極的に参加している事例について本年度も継続して活動内容を調査した。その結果、拠点病院内および院外での相談業務における相談員、コーディネーター養成講座やスキルアップ講座での講師、C型肝炎治療終了者サポート事業での指導員等の役割で実際に知識を生かして活動していることが確認された。特に本県では社会保険労務士や弁護士資格を持つ非医療職の方が仕事と治療の両立支援や肝炎訴訟についての相談業務のためにコーディネーター認定を受けたうえで活動している。全国的な肝炎医療コーディネーターの活動指針として共有して行くことが望まれる。

A. 研究目的

ウイルス肝炎対策において患者の受検、受診、受療に繋げるため、また行政等で導入してきたさまざまな医療制度を的確に患者へ発信するため、2009年に山梨県において全国に先駆けて養成を始めた肝炎医療コーディネーターは現在全都道府県で養成がおこなわれるまでに発展し、2017年には厚生労働省から「肝炎医療コーディネーターの養成及び活用について」が発出されている。しかし実際の役割や機能は明確でなく、全国で統一された活

動指針はなかった。そうした中で各種肝疾患拠点病院事業において相談員や講師として積極的に参加している事例も多数確認されたため、本年度の活動内容を調査し今後の全国的な肝炎医療コーディネーターの活動指針の構築に繋げることを本研究の目的とした。

B. 研究方法

2009年から開始している山梨県の肝炎医療コーディネーター養成事業の現状と、肝疾患診療連携拠点病院である山梨大学

医学部附属病院・肝疾患センターで2019年度におこなった各種相談業務、コーディネーター養成講座・研修会での講師、さらに山梨県で開始しているC型肝炎治療終了者サポート事業での保険指導における肝炎医療コーディネーターの活動状況を調査した。

### C. 研究結果

#### 1. 肝炎医療コーディネーター養成事業

##### 1) コーディネーター養成講習会

2019年11月7日(木)～1月9日(木)

会場：山梨大学医学部臨床大講堂

4日間、合計8講義、うち2講義で肝炎医療コーディネーター2名(看護師1名、医療行政職1名)が講師を担当

全講義を受講し試験合格者が認定される  
受講者：31名 認定者：30名

2009年度からの合計認定者：414名

これまでに本県の養成事業で社会保険労務士21名がコーディネーター認定を受けており、今年度初めて弁護士が認定された。

#### 2) 肝炎医療コーディネーター研修会

2019年9月28日(土)

会場：アピオ甲府(甲府市)

特別企画「肝炎医療の常識クイズ」に肝炎医療コーディネーター8名(看護師2名、保健師、メディカルソーシャルワーカー、臨床検査技師、栄養士、薬剤師、社会保険労務士)が各専門分野のクイズ解説者として参加 出席者：40名

### 2019肝炎医療コーディネーター研修会 肝疾患コーディネータースキルアップ講座

日本肝臓学会と山梨大学医学部附属病院肝疾患センター、山梨県では、肝炎医療コーディネーターを対象に、全国の肝炎医療コーディネーターの活動紹介や、肝炎医療の簡単なクイズを行います。

本研修会を機会に、肝炎医療コーディネーターとしてのスキルアップを図りませんか？

協賛会社 山梨大学医学部附属病院肝疾患センター 井上 泰輔 先生  
中山 康弘 先生

「肝炎医療コーディネーターに関するDVD上映」

講演：「全国の肝炎医療コーディネーターの活動報告の紹介」  
肝臓学会2019メディカルスタッフセッションより

山梨大学医学部附属病院 肝疾患センター

井上 泰輔 先生

特別企画：「肝炎医療の常識クイズ」

肝炎医療コーディネーターの仕事 どれが正解？

山梨大学医学部附属病院 肝疾患センター

中山 康弘 先生

日時 9月28日(土) 午後2時～4時

会場 アピオ甲府 タワー館6階「キャッスル」中巨摩郡昭和町西条3600

入場無料

主催 日本肝臓学会 後援 山梨大学医学部附属病院肝疾患センター、山梨県  
問い合わせ先 山梨大学医学部附属病院 第1内科 電話 055-273-9584 (直通)

※この会は、一般社団法人日本肝臓学会が「2017年度GSK医学教育事業助成」を受けて開催しています。

肝疾患診療連携拠点病院事業  
令和元年度 肝疾患コーディネーター養成講習会

肝疾患コーディネーターとは？  
肝炎ウイルス感染者、肝疾患患者、ご家族のみなさんへの相談・支援を行い、適正な医療へ導く肝疾患の専門知識を持った人

どうやったらなれるの？  
一定の講義を受講し、認定試験に合格した者にのみ認定証を交付します。

講習会 会場  
山梨大学医学部キャンパス小講堂(中央市下河東1110)

講習日程  
17:00～ 18:00～

11月7日(木)	①B型肝炎	②C型肝炎
11月14日(木)	③肝硬変、アルコール性肝炎、NASH、自己免疫性肝炎	④肝臓の内科的治療
11月28日(木)	⑤肝臓の外科的治療	⑥肝疾患に関する公的医療制度、自立支援
12月5日(木)	⑦肝疾患患者のケア	⑧肝疾患の現状と肝炎対策、肝疾患コーディネーターについて
12月19日(木)	18:00～19:00 認定試験	
1月9日(木)	17:00～ 認定証交付式	

◆申込期間：令和元年10月1日(水)～10月25日(金)  
◆申込方法：電話、Eメール(※電話受付は平日のみ)又は別紙の申込書にて郵送・FAXでお申し込みください。  
◆募集定員：30名(定員になり次第締切)  
◆参加料：無料  
◆参加対象：医師・看護師・保健師・薬剤師・栄養士・臨床検査技師など肝疾患センターが協賛した者  
主催 山梨大学医学部附属病院、山梨県社会保険労務士会連携推進課  
後援 独立行政法人 労働健康安全機構 山梨産業保健総合支援センター

第3回 検査技師編

検査技師の奥山さん(仮)がある日採血を終えた患者様と話をしました。

患者様は、35歳の男性で1年前に虫垂炎の手術歴あり。

健康診断で肝臓を指摘され、C型肝炎に罹患しているか検査をすると言われたそうです。

奥山さんが1年前の手術前検査でC型肝炎の検査は実施済みだと思い、検査の結果を聞いたところ…そんな結果は知らないとのことでした。

手術前検査の施行すら知らない様子でした。手術前検査結果の扱いはどのように扱うべきなのでしょう。

第7回 社会保険労務士編

社会保険労務士の井上さん(仮)がある日相談を受けました。

相談者さまは、50歳の男性で小規模企業で勤務。

5年前から肝臓を指摘され肝臓病で繰り返し治療

1年前から腹水が出現し、たびたび入院が必要となっています。

腹水貯留と今年3回目の入院が決まり、仕事は続けたいが、皆に迷惑をかけるので辞職しようかと相談がありました。

## 2. 肝疾患相談支援業務

1) 山梨大学医学部附属病院医療福祉支援センター内に相談窓口を開設。通年の月～金 10:00～16:00に医師1名、相談員(看護師・肝炎医療コーディネーター)1名が常勤、他4名が兼任で対応。2019年度(～2019年12月末現在)497件の相談中、医師の対応を必要としたのは6件(1.2%)のみであった。

### 2) 院内肝ぞう・がん相談会

2019年10月28日(月)、12月9日(月)、2020年1月20日(月)3回開催。

対応者：肝炎医療コーディネーター3名(看護師、社会保険労務士、弁護士各1名)、職業安定所相談員1名 相談者：計7名



## 治療や療養と仕事の両立

でお困りのことはありませんか？

**無料相談会**を開催します！

【対象となる患者さま】

がんと診断された方、肝疾患の方、またはその御家族等

【開催日】

- 令和 1年10月28日(月) 14:00～16:00
- 令和 1年12月 9日(月) 14:00～16:00
- 令和 2年 1月20日(月) 14:00～16:00

【相談員】

社会労務士、弁護士、山梨産業保健総合支援センター肝炎医療コーディネーター(栄養管理士、看護師等)、がん相談員 ※医師の相談対応は行っていません。



\* 相談をご希望する方は、相談日当日7番相談へお越しください。個別相談室へご案内します。(予約制ではありません)

主催 山梨大学医学部附属病院肝炎センター・医療福祉支援センター

## 3) 肝臓なんでも(無料)相談会(院外)

第1回 2019年11月30日(土)

会場：甲斐駒センター(北杜市)

対応者：肝炎医療コーディネーター4名(保健師、社会保険労務士、臨床検査技師、薬剤師各1名)、医師1名、弁護士1名  
相談者：15名

知って肝炎  
Hepatitis Think Again

**肝臓なんでも相談会**

日時：令和元年11月30日(土)  
14時～16時(受付13時30分～)

場所：甲斐駒センター せせらぎ  
北杜市武川町牧原1243

同時開催  
＜ミニ肝ぞう病教室＞  
・14時～・15時～  
～検診で肝機能異常を言われたら～  
山梨大学 第一内科 中山康弘先生  
(肝炎センター 副センター長)

肝臓病のことでお困りの方、  
病気のこと、治療のこと、医療費のこと、しごとのこと、  
肝炎訴訟のこと、日常生活について等  
医師、弁護士、社会保険労務士、保健師等  
肝炎医療コーディネーターが  
なんでもご相談に応じます。プライバシーは厳守いたします。

主催 山梨大学医学部附属病院肝炎センター  
連絡先 山梨県中央市下河原1110 電話 055-273-1111  
後援 山梨県

この事業は厚生労働省が行う「肝炎患者の就労に関する総合支援モデル事業」の一環として実施されています。

第2回 2020年3月8日(日)

会場：アピオ甲府(甲府市)

で準備し、保健師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、弁護士、社会保険労務士、行政保健担当職員が参加予定であったが新型肺炎対応のため中止

## 3. 肝臓病教室の開催

拠点病院での患者・家族を対象とした教育・啓発活動

2020年2月27日(木)

会場：山梨大学医学部附属病院消化器病棟カンファレンス室

テーマ：肝疾患と腹水・浮腫

肝炎医療コーディネーター2名(病棟看護師1名、臨床検査技師1名)、医師1名が講演と質疑応答

上記準備するも新型肺炎対応のため中止

#### 4. C型肝炎治療終了者サポート事業



山梨県でC型肝炎に対する医療費助成受給者のウイルス排除後の定期通院継続指導のため 2017 年 10 月から開始。希望者に受診票(やまなし健康パスポート)を発行し、山梨大学医学部附属病院でファイブロスキャンによる肝硬度および脂肪化の測定を無料でおこない、肝炎医療コーディネーター2名(看護師)が受診継続の指導を担当。

2017 年度からの総申込数 : 708 名  
 本年度受検者数 : 50 名、総受検数 : 309 名  
 708 名中 60 名 (8.5%) が定期通院から脱落していたが、本事業へ参加してコーディネーターの指導を受けることにより通院再開へと繋がった。

定期検査助成制度利用者も 2016 年度に 10 名 (36,310 円) であったものが 2018 年度には 79 名 (1,048,480 円) と人数で 8 倍、金額で 30 倍に増加しており、定期通院継続指導の結果と考えられる。

#### D. 考察

2019 年度に山梨大学附属病院肝疾患センターがおこなった多くの事業に専門性の異なる多職種の肝炎医療コーディネーターが参加していた。通年で常設されている相談窓口では、ほとんどを事務職員と看護師のコーディネーターで対応可能であり、医師の関与が必要であったのはわずか 6 件 (1.2%) のみであった。病院内・外で開催した相談会へは保健師、看護師、社会保険労務士、臨床検査技師、薬剤師、栄養士と非常に多彩な職種のコーディネーターが相談員として参加した。特に社会保険労務士や弁護士がコーディネーター資格を持ったうえで参加することは全国的にも未だ少数と思われる。こうした非医療域の専門資格を持つ方々はそれぞれの専門分野では非常に高度な知識を持つが、医学的な情報に精通しているとは限らず、社会保険労務士と弁護士どちらの認定者からもコーディネーター養成事業により得た知識を持ったうえでの相談業務は有益だとの意見をいただいている。今後より多彩な肝炎医療コーディネーターを多数養成することが医師のみでは困難な肝疾患患者や家族へのより望ましい対応へと繋がると期待される。

C 型肝炎治療終了者サポート事業では SVR 後に定期通院からドロップアウトしていた症例が本事業により再通院に繋がること、また本事業開始後に定期検査助成制度利用者が増加していることなど通院継続による SVR 後発癌例対策にコーディネーターによる指導が有効と考える。

#### E. 結論

山梨県の肝炎医療コーディネーターは 2019 年度も引き続いて山梨大学附属病院肝疾患センター事業へ多数が参加している。社会保険労務士や弁護士など非医療

職のコーディネーターも増え、医療職のみでは困難な事例への対応が期待される。

## F. 健康危険情報

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

なし

### 2. 学会発表

井上 泰輔、有菌 晶子、石黒 博子、金子 春美、石川 佳菜、八巻 真美、渡邊 祐将、山本 瑠美、神田 藍、北井 朋美、坂本 美穂子、松本 友香理、小林 貴子、浅山 光一、久保田 好、下川 和夫、中山 康弘、榎本 信幸. 肝疾患コーディネーターの活動. 肝臓 (0451-4203) 60 巻 Suppl. 1 Page A265. 2019

浅山光一、阿部純、下川和夫、有菌晶子、石黒博子、中山康弘、井上泰輔、榎本信幸. 肝硬度測定装置 (FibroScan) を活用したC型肝炎治療終了者のサポート事業とその成果について 肝臓60巻Suppl. 1 Page A287

## H. 知的所有権の取得状況

なし

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし